

国立武蔵野学院附属人材育成センター養成部通信課程

第4期生(令和7年度)募集要項【公務員選考】

1. 目的

現に地方公務員(常勤又はフルタイムの非常勤)として勤務している者であって、児童相談所又はこども家庭センターに配置予定の者に、通信教育及び実習等により基礎的な理論や技術を習得させることで、児童福祉司及び社会福祉主事の任用資格を取得させることを目的とする。

2. 修業期間及び受講期間

修業期間は令和7年4月1日(火)から令和8年3月31日(火)まで

受講期間は令和7年5月1日(木)から令和8年1月31日(土)まで

3. 募集人数

一般選考、公務員選考合わせて40名

4. 応募要件

児童福祉法施行規則(昭和23年厚生省令第11号)第6条第9号、第10号、第11号及び第14号に規定する看護師、保育士、教員(二種免許状を有する者に限る)及び児童指導員のいずれかの資格を有する者であって、同規則第5条の3に掲げる指定施設において2年以上相談援助業務に従事した者のうち、都道府県、指定都市、中核市、特別区及び児童相談所設置市が設置する児童相談所の業務に従事する職員(見込みを含む)又は児童福祉法第10条の2に規定するこども家庭センター(令和6年3月31日以前に市区町村子ども家庭総合支援拠点であった施設のうち、こども家庭センターに該当しないものは、こども家庭センターとみなす)の業務に従事する市町村の職員(見込みを含む)であって、地方公共団体の長が推薦する者

5. 選考

(1) 提出書類

各地方公共団体において提出書類を取りまとめ、担当部署の長より一括して応募すること。

- ① 入所願書(別紙様式1をA4縦・片面印刷。ペン字・自書、写真を貼付すること)
- ② 健康診断書(別紙様式2により、病院、診療所又は保健所等で令和6年10月以降に作成したもの)
- ③ 履歴書(ペン字・横書き楷書により作成し、写真を貼付すること)
- ④ 志望理由書(「児童福祉司及び社会福祉主事の任用資格を取得したい理由」について、400字詰めA4横書き原稿用紙2枚に、ペン字・自書により作成すること)
- ⑤ 「4. 応募要件」の看護師、保育士、教員(二種免許状を有する者に限る)及び児童指導員のいずれかの資格の証明書(写)

⑥ 地方公共団体の長の推薦書

※ 入所希望者が複数の場合、①～⑤の書類を入所希望者ごとに提出すること。

(2) 提出先

〒336-0963 埼玉県さいたま市緑区大門1030番地
国立武蔵野学院附属人材育成センター養成課(通信課程)

(3) 申込期限

令和7年3月3日(月)<当日消印有効>

※ 申込予定がある場合は、書類の申込期限とは別に、令和7年1月14日(火)までに「8.照会先」のメールアドレス宛に、自治体名及びその時点の申込予定人数をメールで連絡すること。(その後の人数変更・予定取消しは可能)

※ なお、令和7年1月14日(火)までにメール連絡が無かった地方公共団体において、その後の人事異動等により申込みが必要になった場合の申込みは可能。

(4) 選考

当センターの規程により書類選考の上、入所の可否について、令和6年度中に取りまとめ担当部署の長宛に通知する。

6. 受講手続

受講を許可された者は、指定の手続きを行う。詳細については、入所可否通知後に改めて通知する。

7. その他

- ① 提出書類の別紙様式1～2は、こども家庭庁ホームページ(ホーム>国立武蔵野学院>養成部・通信課程)にも掲載している。
- ② 「5.選考(1)提出書類」の①、③に貼付する写真は同じ画像のものとし、3か月以内に上半身正面向、無帽、無風景、マスク無で撮影したものとする。
- ③ 提出後の書類は一切返却しない。
- ④ 入所希望者個人による応募は認めない。
- ⑤ 次頁の「<参考>通信課程の学習内容等について」の1の(5)実習のうち、①児童相談所及び②こども家庭センターの実習先については、各地方公団体に於いて確保のご協力をお願いする。(実習先との日程調整及び実習依頼等の事務は当センターで行う)

8. 照会先

国立武蔵野学院附属人材育成センター養成課(通信課程)

◇電話番号：048-878-1260(音声ガイダンス2番)

◇メールアドレス：musashino.jinzaiikusei@cfa.go.jp

<参考>通信課程の学習内容等について

1. 学習内容

(1) 履修科目

別表に掲げる全20科目。各科目の指定学習教材（テキスト、補助教材）は、各人で受講期間までに準備する。

(2) 通信授業（自宅学習）

通信課程は3期制で、各期に指定された科目の学習に取り組み、各科目の履修後に、選択式問題の履修後テストを実施する。（一部科目はレポートの作成）

履修後テスト等が合格基準に達した場合に、当該履修科目が修了となる。

第1期 令和7年 5月 1日（木）～令和7年 7月31日（木）

第2期 令和7年 8月 1日（金）～令和7年10月31日（金）

第3期 令和7年11月 1日（土）～令和8年 1月31日（土）

(3) 配信講義

各期に取り組む科目について2か月程度、科目担当講師による講義動画を国立武蔵野学院通信課程システムにおいて配信。講義動画は、各科目の要点について2時間程度。ただし、一部の科目は（4）のスクーリング（集合研修）において、対面講義を予定。

(4) スクーリング（集合研修）

スクーリング（集合研修）は土曜、日曜、祝日を利用して、5月に2日間、9月に3日間で実施する予定。履修後テストに代えて、スクーリングの出席状況、受講態度、レポートの作成により科目の修了を判断する。

(5) 実習

以下の3種類の施設・機関で実習を行う。

①児童相談所 75時間（10日間）

②こども家庭センター 37時間（5日間）

③児童福祉施設（入所型） 69時間（6泊7日）

※実習に係る経費（交通費・食費・保険料等）は各人で負担する。

2. 卒業証書の交付

(1) 修了要件を満たした者に「卒業証書」を交付する。

(2) 修了要件は以下のとおり。

①通信課程の全科目に合格（修了）すること

②スクーリング（集合研修）及び実習を修了すること

(3) 卒業証書の交付時期は、令和7年3月中旬予定。

(4) 令和7年度に修了要件を満たせなかった場合、次年度（令和8年度）に限り、修業期間を継続して、未修了科目及びスクーリング（集合研修）の受講が可能。

【別表】 学期別履修科目一覧（予定）

学期	科目	主な内容
第1期	社会福祉概論	社会福祉の理念と意義、歴史と発達、福祉サービスや組織、資格制度 等
	社会福祉行政論	社会福祉行政の歴史的展開、社会福祉の法体系及び関係法の概要 等
	公的扶助論	公的扶助制度の歴史と理念、現代社会と公的扶助、生活保護制度のしくみ 等
	障害者福祉論	障害の概念と障害児・者の実態、障害者福祉の社会的背景と理念、障害者福祉の法と福祉サービスの体系 等
	児童相談所運営論	児童相談所の概要、法的な性格と機能、組織と各職種の業務内容 等
	社会福祉援助技術論	社会福祉援助活動の理念と構成、援助活動の原則及び展開過程、専門援助技術の体系及び内容 等
	社会福祉施設経営論	社会福祉施設の体系と制度の概要、福祉サービスの理念、社会福祉施設の運営と組織管理 等
第2期	社会保障論	社会保障の理念・意義、現代社会における医療・介護・福祉・年金などの社会保障制度 等
	地域福祉論	地域福祉の基本理念とその発達、地域福祉を支援する制度、地域福祉の推進 等
	児童・家庭福祉論	児童福祉及び家庭福祉の理念と意義、社会的背景、児童・家庭に対する保健・医療・福祉サービスの現状 等
	養護原理・レクリエーション	社会的養護の歴史的変遷と要保護児童の現状、児童自立支援施設などの運営、レクリエーションの基本的理解 等
	福祉事務所運営論	福祉事務所の概要、法的な性格と機能、組織と各職種の業務内容 等
	社会福祉援助技術演習	社会福祉援助技術の具体的理解、援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング） 等
	法学	社会生活と法制度、憲法・民法・行政法、成年後見制度及び更生保護制度 等
第3期	高齢者福祉論	高齢者福祉の社会的背景及び理念と目的、介護保険制度の概要とサービスの体系・内容 等
	心理学	心理学の基本理論や専門用語、様々な研究方法・知見及び人間の心理学的理解 等
	介護概論	介護の理念および介護福祉実践のあり方、介護課程の展開と介護技法の基本 等
	医学一般・保健体育	心身の健康、病気、健康上の問題等の知識、身体及び精神機能発達と精神保健、社会福祉と医学的支援 等
	経済学	経済学の構成と概要、社会政策と国民生活、社会福祉・社会保障制度における諸問題 等
	社会学	現代社会と社会学、現代社会における家庭や地域の特徴、社会問題と社会福祉の関連 等

No. _____

入 所 願 書



(縦 4 cm × 横 3 cm)

現 住 所

連絡先電話番号

ふ り が な
氏 名

生 年 月 日 年 月 日生

国 立 武 蔵 野 学 院
附 属 人 材 育 成 セ ン タ ー 長 殿

出願課程	全日課程 ・ 通信課程 (どちらかに「○」を付けてください)
出 願 理 由	

最終学校及び専攻学部科			
卒業年月日		年 月 日 卒業（見込）	
職 歴	職 業	勤 務 先	期 間
資 格 ・ 免 許			

別紙様式 2

健康診断書

国立武蔵野学院附属人材育成センター

男・女 (生年月日 年 月 日 歳) ふりがな 氏名 住所 〒		*受験番号
身長	c m	体重
呼吸器 X線検査 直接・間接		視力 裸眼 右 . 左 . (矯正) (.) (.)
所見 年 月 日撮影		聴力 右 1000Hz 所見 なし・あり () dB 右 4000Hz 所見 なし・あり () dB 左 1000Hz 所見 なし・あり () dB 左 4000Hz 所見 なし・あり () dB
心電図		尿検査 蛋白 () 糖 () 潜血 () 血圧 / mmHg
既往歴 (病気・怪我 (外傷) や手術の既往、アレルギー)		
診察所見		
その他特記事項		
総合判定		
診断の結果、上記のとおり相違ないことを証明する。 年 月 日 住所 〒 医療機関名 医師名		